

中村延子のぶこ



証紙

W24mm×H17mm

■頒布責任者/西沢けいた
中野区本町5-39-10
■印刷者/有限会社ぐるーぶ・トモ
新座市道場1-7-2

多様性を誇りに。
分かち合うことを力に。
支え合うことを安心に。

中村延子のプロフィール

1981年 9月2日 中野区生まれ

1994年 東京文化小学校卒業

小学校5年生の冬、ブラジルで(社)CISVの11歳キャンプに1か月参加し、9カ国の子どもたちと異文化交流を体験。この頃から国際社会に興味を持つ。

1997年 東京文化中学校卒業

15歳で単身アメリカに渡る決意。

2001年 米国アニーライトスクール高等部卒業

在学中、夏休みを利用して宝仙学園幼稚園でボランティアをし、卒業必須活動である50時間のコミュニティーサービスを、自分の出身地である中野で実施。1912年から続いている伝統行事のメイデーでは、高校生活での活動が評価され卒業生から1人選ばれるメイクイーンに選ばれた。

2005年 米国クレアモント・ピッツァー
カレッジ卒業

在学中、上智大学比較文化学部にてサマースクール受講。
2004年 北京大学医学部へ短期留学。

大学卒業式▶

2005年 民間企業に就職

株式会社ケン・コーポレーションから業務委託を受ける総務代行会社に就職。外国人賃貸住宅管理部業務の一端を担う。

2009年 衆議院議員手塚よしお秘書

地元事務所に勤務。

2010年 参議院議員蓮舫秘書

参議院選挙にて、秘書派遣で蓮舫大臣の選挙事務所スタッフとして奮闘。その延長線上で事業仕分けのお手伝いも含め、蓮舫事務所に赴出。

2011年 中野区議会議員 初当選

1,530票をいただき初当選。建設委員会、震災対策特別委員会を歴任。厚生委員会、地域支え合い推進特別委員会副委員長を務める。民主党東京都連青年委員会交流局副委員長、中野区国際交流協会評議員。

2015年 中野区議会議員 2期目の当選

2,513票をいただき、2期目の当選。区民委員会委員長、少子高齢化対策特別委員会に所属。現在は、立憲民主議員団副幹事長、総務委員会委員、少子高齢化対策特別委員会委員を務める。

役職:中野区国際交流協会評議員、立憲民主党青年局副事務局長

おとめ座/B型/酉年 趣味:音楽、料理、旅行、読書



▲兄と2人で
祖母の故郷・広島県福山市にて



▲宝仙幼稚園でのボランティア活動



▲メイデーでのスピーチ



▲北京大学に短期留学



▲2011年4月中野区議選



▲中野区議会立憲民主議員団



中村延子の想い

「あなたの政治を描きなさい」——

これは米国の高校在学中、アメリカ史の授業で初めて出た宿題です。私はその意味がわからず、先生に「私の政治」とは何かを質問したところ、「あなたの政治とは、あなたの生活のことを指しているのよ。あなたと関わりがあることや人はすべてあなたの政治なのよ。家族関係も友達関係もすべて政治なの」とおっしゃいました。

政治とは生活そのものである、と教えられました。

政治は身近なものであり、誰もが無関係ではいられないものです。それでも中々投票率があがらない、若者が政治に無関心でいられるのは、自分に無関係なものだと思い込んでいるからではないでしょうか。

イチ納税者の立場から、税金のムダ遣いに無視が出来なくて、人生を決断したのが8年前の事。多くの方から、それまでの政治をただすチャンスを与えていただきました。



NO! 選挙カー

騒音・渋滞の原因となり、税金まで使われる選挙カーは一切使用しません。

若手議員の突破力で、
変えられたことがたくさんありました。
議会の壁にはね返されたことはその何倍もありました。

政治姿勢として、
利権・特権・パーティー券に頼ることなく、しがらみゼロで
貫きとおせたことは、間違いなくこれまでの政治を大きく
変える一石になれたと思っています。

区民の注目度が低い中で、
古い政治文化が行われています。
お給料が下がっても、ちゃんと財布からとられる
大事なお金の行方を、
無関係ではいられない中野区の政治を、
是非とも厳しい視線で監視していただけたら
幸いです。

これからも、全力で責任を
果たしていく事をお約束します。

中野区議会議員

中村 延子

